

全体会

教区教研討論会

レポーター

座長	北陸	串田教雄
中四国	大塚教行	
		討論会
座長	京浜	岩永泰賢
	北関東	今田忠彰
中部	中部	西口玄修
近畿	九州	内藤邦彦
	北海道	三好能生
		中村潤一
		東北
		大和田善生
		原顯彰

て いる。

座長 このような討論スタイルになったのは、今までの面白くない教研会議を反省しての新趣向です。
(笑) 始めに全国の教研会議の状況を所長さんよ
りお願ひします。

会場は円状に机が並べられ、ゼッケンをつけた教区代
表者が向い合う。その討論場を開むように参加者が座つ

立、総弘通など) を設定したテーマ、などに分け
られる。問題点としては、
話し合いのみで具体的な解決策がない。積み重
ねがないこと。三年ほど同じテーマで話し合う必

要がある。理屈や立て前論で終っているので、もつと本音で話して、現場の教師の事例報告も必要。教化は多面的だから、専門家を招いてのテーマにまつわる問題提議もいいと思う。

開き方の問題としては、宗務所中心に開くのではなく運営委員会全体で企画開催して欲しい。また、他の会合と併設して開くのは、地域事情もあると思うが、はじめがなくなるので教研独自の開催が望ましい。

以上、テーマ設定と開催の仕方にについて述べた。

座長では、モデル教区として二つ取り上げられたなかから先に中四国よりレポート報告を。

中四国 すでに十四回、マンネリを排しつつ開催している。その間、色々と改めてきた。以前は教区所長会議中心に企画運営されていたが、これを日時、開催県を除いて全て運営委員が決定、実行するようになつた。また、教研が他の宗務関係会議等と併設され、若手の参加が出来ない、教区行事が過ぎる等の問題があつたが、教研の本会議と重点

北陸 座長 続いて北陸教区の報告をお聞きします。

北陸 共通のテーマを搜すのが大変で、寺院等級別、年齢別にしほる方法がいい。富山大会では、檀信徒の家でできる質問に、二十九～三十代の僧侶が真剣にどう答えるかをテーマに選んだ。資料作成、通信費に充分予算をとつて、通信を重ね、資料を共同制作のような形でつくった。原稿を書くうちに、文書伝道の重要さを改めて確認した。運営委員は、もつと指導者になつてもらわなければ困る。誰に、いつ質問されてもきちんと応えられる僧をつくるのが教研会議であると思う。

座長 この二つのレポートを踏まえて、各教区と比べ

て感想なり、ご意見を。

中四国 やつていなることは話せないということで、新宗教の法座を二順目の広島大会で取り上げた。批判もあつたが、組織布教の原点として現在も青年会が担つて継続している。まず実行して、その結果で判断すべきだ。

北海道 広い地域という問題が大きい。管区が四地区に分かれ、担当地区の方の参加者が多い。北海道では、長年続いている夏期講習会のマンネリを破るべく第一回教研が取り入れられた。その後も併設のまま、教学研修会も併設されるという特殊事情がある。

東北 各管区のもち回り開催だが、一番の問題はテーマ設定。また、運営委員の連絡協議会が整っていないので、各管区にまかせてしまう。なにかと他の会合とだき合せて開催することが多い。北陸のテーマ設定の仕方は?

北陸 身近で答え難い問題を、テーマにする。

中四国 法座をやつていると身近な体験談が重要。富山

での体験集をぜひ出版して欲しい。

近畿 アンケート調査の回収率が一〇〇%で、意識の低さを感じた。近畿では運営委員が管区の行事を企画、運営するので、責任が大きい。

北陸 富山大会の内容は良かつたが、継続されなかつた。着手参加を中心に考えて、魅力ある会にしなければ参加者が減るだろう。

中部 新米委員が企画運営せねばならなかつた経緯があり、組織というものを再考にした。

山静 山梨、静岡の交互で開催しているが、参加がない。テーマ以外にも何か方法が?

北関東 布教講習会と交互に隔年で開くが混合し易い。運営委員中心より管区当番の方が、地域事情に合つていて合理的だ。

千葉 北関東と共同の頃は寺檀問題がテーマで、今は総弘通。制約がなく運営しやすい。

京浜 十六回開き、問題点を検討した。問題意識が散漫、会議に継続性がなく、運営委員が形だけ、成果を生かす努力がない等の反省の上で、今後の教

研を企画運営したい。

座長 最後に九州教区のご意見を。

九州 会議にならないこんな会議になってしまふことが、教研をつまらなくしている原因だ。（拍手）レポーターが一人いたのに皆レポーターになってしまった。会議のやり方を皆もつと学ばねばならない。

座長 我々坊さんには、こうしたスタイルの討論会は向かないとわかつただけでも、この会は意義があつたと思います。（笑）

九州 若手の参加が少ないのでなく、若手に全て任せせるようにしなければ駄目だ。

北海道 年齢ではなく心の若さが問題だ。若・中・老年の競合が必要である。

座長 時間ですので、これで閉会となります。

（波澤光紀）